

新規・継続等	新規	分野	補完的な道路の整備		事業番号	86	事業名	県単道路改築				
市町村名	生坂村		ふりがな箇所名	(一)宇留賀池田線		事業年度	業本		年度～	年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	待避所設置3箇所 L=300m W=4.0(6.0)m					H22年度末事業進捗率	0%				
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%				
	H23年度実施内容	-					用地補償費ベース	0%				
	事業費計(千円)	全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降残						
	財源内訳	国庫支出金	30,000	0	0	0	30,000					
	その他											
	県債	27,000	0	0	0	27,000						
	一般財源	3,000	0	0	0	3,000						
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評価			部	政策評価課					
			ランク	評点	ランク	評点						
	必要性 (30)	計画交通量	4,000台/日以上	1,500台以上～4,000台/日未満	1,500台未満	C	C	0	0			
		代替道路	唯一の道路である	代替となる道路がある				5	5			
		ネットワーク (道路網)	バス路線である	駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	A及びBに該当しない				0	0		
			ボトルネック箇所	ボトルネック箇所でない					0	0		
		各事業特有の必要性(安全の確保)	観光地に通じる道路	観光地に通じる道路ではない					0	0		
			4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	4.0m以上5.5m未満(幅員)	5.5m以上(幅員)				6	6		
		歩道未整備区間に歩道を設置	歩道はあるが不十分であるものを再整備	歩道整備無し				0	0			
		他事業との関連	河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施						0	0		
	小計					11	11					
	重要性 (10)	設計上の環境配慮	環境配慮がされ現実性が高い	環境配慮がされているが現実性が低い	環境配慮をしていない	A	A	3	3			
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(2個以上)	緊急輸送路、振興山村、積雪、過疎、地震防災対策強化に位置づけ(1個以上)	特別な位置づけはない			5	5			
		小計						8	8			
	効率性 (20)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上	B/C 1.0～1.5未満	B/C 1.0未満	A	A	5	5			
		事業効果の早期発現	事業年数 3年以内	事業年数 4年～5年以内	事業年数 6年以上			8	8			
		コスト縮減	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	コスト縮減はしていない			7	7			
		小計						20	20			
	緊急性 (20)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	交通事故や落石等の危険がない	B	B	10	10			
		各事業特有の緊急性(医療・福祉・教育)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	医療・福祉の連携に係らない道路			0	0			
小計					10			10				
計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い	市町村からの要望	特に要望がない	B	B	3	3				
	事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者中心に周知	特に周知していない			3	3				
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	特に住民意見は反映していない			4	4				
	小計						10	10				
費用対効果(B/C)		算定対象外		評価の合計			B	59	B	59		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、国道19号と主要地方道大町明科線を結び、生坂村・池田町両町村の生活・文化及び産業・経済の活性化を図る上で重要な路線である。しかしながら、当該箇所は幅員の狭隘、急勾配により車両のすれ違いにも支障をきたしている。										
	地域からの要望経緯	毎年、県道上生坂信濃松川停車場線・県道宇留賀池田線整備期成同盟会(市町村)より建設部長に対し要望がある。(H22年度はH22.7.2に要望)										
	事業説明等の経緯	生坂村役場に説明済。										
	環境・景観への配慮項目	改良区間を最小限とし、地形改変を小さくする。										
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。										
特記事項	生坂村役場と連携し、住民の意見を聞きながら計画策定していきたい。											
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他							
部意見	評価レベルが低いため、事業化を見送りたい。				政策評価課意見	必要性がやや低い。						